

アクセシビリ

2018年12月13日
北星学園大学
アクセシビリティ支援室通信
第10号

こんにちは！ 北星学園大学アクセシビリティ支援室です。
今号では、『第14回 日本聴覚障害学生高等教育支援シンポジウム@早稲田大学』
についてご紹介していきます。裏面には、参加学生の感想も載せています。

聴覚障害学生支援に関する実践事例コンテスト2018

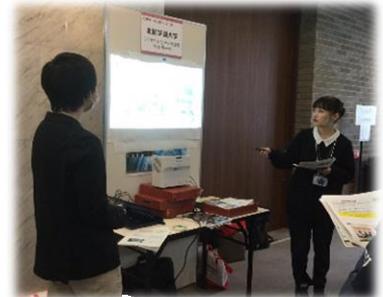
『**新人賞**』を受賞しました!!
2年連続で素晴らしい賞を受賞することが出来ました☆

発表用ポスター



↑
発表時のようす
↓

大学に戻ってから
メンバー全員で一枚 →



受賞直後の一枚 →



← 発表時の様子 →



シンポジウムに参加学生からの感想

初めての参加でしたが、支援の様々な形を知り、今後の支援の参考になりました。また、他大学の支援は支援者と利用学生との距離がとても近いと感じました。今後は支援だけでなく手話などを使って利用学生との距離を縮め、本音を言い合える関係を作りたいと思いました。

福祉心理学科4年 小島 悠華

手話ができる人がいない状況で、わかりやすい発表をするために考えたポスターとパワーポイントを使った発表は、北星ならではのものであり、且つ私たちにできる最大限のものであったと感じます。何においてもみんなを確認をするよう心掛け、話し合いを重ねた結果、メンバーそれぞれが納得のいくものに仕上がりと、それが新人賞という評価につながったと思います。最高のメンバーと最高の思い出ができました。

心理・応用コミュニケーション学科4年 植田 裕美

今回の参加で、他大学での支援や取り組み、工夫について学ぶことができました。会場には聴覚障害を持った方もたくさんいらっしゃり、質問を受けた時や交流企画では手話がわからないもどかしさを痛感して、少しでも手話を学んでいた良かったと思いました。普段の生活では気が付けないものをたくさん知ることができ、いい経験になりました。ありがとうございました。

経営情報学科3年 佐々木 梨乃

今年初めてシンポジウムに参加させていただきました。普段は大学内でノートテイクとして授業内で支援していることがほとんどなので、学外で活動することはあまりなかったのですが、今回のシンポジウムを通して他大学、全国のノートテイクと交流することによって、『学習支援』という部分でより広い視野で見ることができたと実感しています。新人賞という素晴らしい賞もいただき、より一層支援に励んでいこうと思った今回のシンポジウムでした！

福祉計画学科2年 後藤 颯人

他大学の生徒さん達を見てとても良い刺激を受けました。支援者は堪能な手話を使っていたり他大学の生徒とすぐに打ち付けられるコミュニケーション能力があって、ろう学生の人にもディスカッションで我先にと発言したり粋なジョークを混ぜてきたり凄く活き活きとしていて健康な自分が小さく感じるほどでした。なにか障害がある中でもそれに関わる人達が活き活きとしていてその姿に、自分もそうありたいと感じさせられる体験でした。

英文学科 3年 成田 圭吾

私はシンポジウムに向けての準備でしか参加出来ませんでしたが、昨年と違うメンバーで、「北星らしさ」が溢れているポスター パワポが作れたと実感しています。準備段階から和気あいあいとしたチームワークの良さが出たので、それが新人賞受賞につながったと思っています。ポスターやパワポでは、誰が見てもわかりやすいものを作ろうと意識したので、結果としてそれが表れたのが嬉しいです。

英文学科 4年 菱沼 しおり

今回参加して、①メンバーと仲を深めることができたり②他大学の学生の手話レベルの高さに気がついたり③2日目のプロの方々への支援についての討論を聞けたりと本当に贅沢な時間でした。最後には念願の新人賞も頂けて、参加して本当に良かったです！

英文学科 4年 山口 千尋

このシンポジウムを通して、普段あまり関わらないテイクと仲良くなれたり、より北星の支援について考えたり、全てのことが私にとってプラスの経験でした。また、実際に他大学との交流はとても刺激的で、本当に貴重な時間でした。そして、協力してくれたすべての人のおかげで新人賞を頂くことができました。今回の経験をこれからの支援につなげていけるよう頑張ります。このような機会を与えていただき本当に感謝しています。

福祉心理学科 4年 上倉 千穂

アクセシビリティ支援室

●開室時間:(平日) 8:45~11:30 (11:30~12:30 昼休み)
12:30~17:00

●連絡先:電話:011-891-2731(代表) mail: acc-support@hokusei.ac.jp

